

2020 年度 9 月卒業式祝辞

2020 年 9 月 18 日

学校法人梅村学園総長・理事長

梅村 清英

中京大学の卒業式に当たり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられたご家族、保護者の皆様方に、心よりお慶びを申し上げます。教育、指導にあたってこられた教職員の皆さまにも深く感謝いたします。

中京大学の卒業生は、大学院修了生を含めると間もなく 14 万人に到達します。同窓生は社会のあらゆる分野で活躍しています。本学出身のアテネオリンピック、ハンマー投げ金メダリスト、室伏広治さんが、10 月からスポーツ庁長官に就任するというおめでたいニュースも、先週末に飛び込んできたばかりです。

皆さんは今後、さまざまな場面で同窓生と出会い、中京大学で学んだ経験を共有していくことになるでしょう。卒業後はさらに、同窓生との絆を大切にしてください。

さて、世界中で依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。本学でも、学生の皆さんの安全確保を最優先する視点から、やむなく、春学期をWEB方式、オンライン授業にするという対応をとらせていただきました。

国内では新規感染者の増加は一時期に比べるとやや収まった印象があります

が、先行きは予断を許しません。生活のあらゆる場面において、コロナの影響は無視できないものになってきています。多くの企業や現場では在宅勤務の導入が進みました。大手企業の中には、将来的にも在宅勤務を原則とする方針を打ち出しましたところもあります。IT 業界などを中心に、都心のオフィスを縮小したり、地方に移転したりする企業が増えるなど、働き方は大きく変わろうとしています。

プライベートでの旅行や、家族と一緒に余暇を過ごす際にも、常に感染リスクを考慮して行動することが必要となりました。コロナが収束したとしても、社会がすっかり元通りの状態に戻ることはないでしょう。私たちは今、時代の大きな転換点に遭遇しているのです。

感染症対策ばかりに目を奪われがちになりますが、国内外の政治・経済の動きにも注目しておかねばなりません。アメリカでは大統領選挙が 11 月に迫っています。米国第一主義の継続を掲げるトランプ大統領が再選を果たすのか、それとも民主党のバイデン候補が勝つのか。今後 4 年間の日米関係にとって極めて大きなポイントとなります。特にトランプ大統領は、経済政策の一つに「中国に奪われた製造業の雇用を取り戻す」ことを掲げており、保護主義的な傾向がさらに強まれば、日本への影響は決して小さいものではないでしょう。

さらに、香港の問題や海洋進出をめぐる強硬姿勢が目立つ中国とアメリカとの緊張が深まれば、経済的な報復合戦にとどまらず、安全保障にまで問題が広がりがねない懸念があります。

国内に目を向ければ、最大の焦点は、安倍前首相の突然の辞任を受けた、今後の国政の行方でしょう。一昨日、菅義偉（すが よしひで）首相を首班とする新内閣が誕生しました。政治は一刻の停滞も許される状況ではありません。足元の経済情勢は、4月から6月までのGDP、国内総生産の伸び率が、コロナによる緊急事態宣言の影響で、戦後最大の落ち込みとなりました。多くのエコノミストは、日本経済の回復には最低でも2年程度はかかるのではないかと分析しています。その過程では、淘汰される企業が出てくるでしょうし、産業構造の大幅な変化も避けられないでしょう。今まさに新たな政権が始動し、その舵取りに期待したいところではありますが、わが国の経済が大きな難局に直面していることは間違いありません。

ただ、ここで大切なのは、コロナによってもたらされる変化を前向きにとらえることだと考えます。海外との往来はまだ慎重にせざるを得ない状況が続いていますが、この先、グローバル化が否定され、時代が逆戻りすることはあり得ません。コロナ禍を乗り越えた、新たな国際交流のあり方が、この先、築かれていくことになるのです。

経済においても同様で、新たな生活スタイルに対応した、新たな発想に基づくビジネスの需要が必ず生まれ、大きく育っていくことになるでしょう。変化はすなわちチャンスなのです。

中京大学は「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成」を教育目標に掲げています。「しなやか」とは「何事にもくじけない」「柔軟で強い」

という意味を含めています。本日卒業式を迎えた皆さんは、困難と思える問題に出遭っても、くじけず、しなやかに対応していける資質を十分に備えているのです。中京大学を卒業したことに誇りと自信を持ち、ウィズ・コロナの新たな時代を力強く歩いていってください。

中京大学は、長期計画「NEXT10」に基づき、教育・研究体制や環境整備などの改革を進めてきました。これからも、校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を徹底して深めていくとともに、新たな価値を創り出す「創造」へと歩みを進めていく決意です。

梅村学園は3年後の2023年に創立100周年を迎えます。すでにさまざまな記念事業をスタートさせており、今後も「選ばれる学園」であり続けるため、一層のブランド力強化を進めてまいります。ぜひこれからも、梅村学園、中京大学とのつながりを持ち続け、その動向に注目していただくようお願いいたします。

皆さんの可能性は、今日の卒業を機に、さらに大きく広がっていきます。これからも広く、深く学び、多くの友人を作ってください。高い志を持ち、怠ることなく、常に校訓である「真剣味」で臨んでいってください。

以上を持って、私からの祝辞とさせていただきます。

本日はご卒業、誠におめでとうございます。